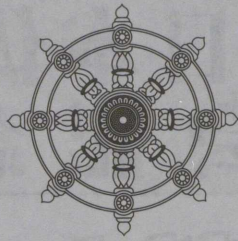


1961年1月16日第3種郵便物認可 1995年10月1日 第412号 (毎月1回1日発行1部50円)

(加盟団体関係者の購読料については、負担金に含まれている。)



全 仏

仏暦2538年10月
(1995年)

NO. 412



全仏大会を前に行なわれた寺内大吉師と
白幡憲佑事務総長の座談会。対談録2～5頁。

財団 全日本仏教会
法人

JAPAN BUDDHIST FEDERATION

第36回全日本仏教徒会議 埼玉大会記念座談会

今、仏教に 何が問われているか？



寺内大吉師

寺内大吉 (浄土宗宗務総長 作家)

白幡憲佑 (全日本仏教会 事務総長)

第36回全日本仏教徒会議埼玉大会の開催を迎えて、直木賞作家であり、浄土宗の宗務総長でもある成田有恒(寺内大吉)師と白幡憲佑本会事務総長に対談をお願いした。昨今の教育・政治・宗教の諸問題を検証し、21世紀を目指して日本の仏教徒の進むべき道について活発な議論がつづいた。

(文責；社会部)

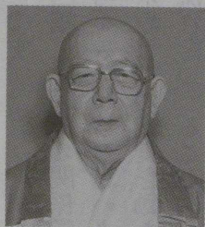
教育について考える

白幡 今年は年初から阪神・淡路大震災やオウムの問題などいろいろありました。自然現象は致し方ないとしても、一連の社会を混乱させている諸問題の中で、とくにオウムの事件のように、「宗教」という言葉を一般的に目にする機会が多くなりました。しかし、戦後五十年間で日本人の宗教に対する考え方は、ずいぶん変わってきているのではないのでしょうか。

寺内 そうですね。平和な時代が五十年も続きますと、誰しも自分の身近とか一生なんてことを考えるようになりますなあ。だから、宗教に強い関心をもつのは当然のことで、自然な流れだろうと思います。そこで、どういふ宗教を信じるかが、平和時代の人間の生き方の大きな条件になってくると思いますね。

たまたま、若者がオウムのようなものを選択したと、年配の人達の多くは「なんであんなものに飛びついたんだろう」とビックリした。このへんに宗教に対する認識の浅さ、勉強不足という答えがあるんじゃないでしょうか。

白幡 戦後は憲法の信教の自由ということに配慮するあまり、宗教に関しての知識を与える機会や場所が失われてしまいましたね。信教の自由とか政教分離という理念は勿論必要



第36回全日本仏教徒会議 埼玉大会開催にあたって

なことですが、そのために「宗教」を遠くの方に置いて、今日までできてしまった。ですから、家庭においても最近の若い人たちの親御さんの世代までは、まだある程度は「宗教」にたいする認識をもっていたと思います。しかし、今の三十代、四十代ははじめの人たちで、小学校から大学まで公立の学校で

第三十六回全日本仏教徒会議が、埼玉県佛教会との共催により、ここに開催されますことは、全日本の仏教徒の熱意の結集であり、まことに意義深いことであると存じます。本年は、国内外において自然災害や諸々のいまわしい事件が続発し、まさに「世も末」という様相を呈しております。このような世情にあって、「共に生きよう—かけがえのないこのいのち—」というテーマを掲げて、今大会を開催する意義

学んだ人は、家庭で教えない限り「宗教」について全く教えられていないんです。若い人達はこの宗教に対する「無知」が、精神的なより所を求めて、オウム真理教などに接したときに、「何が正しい宗教か」を判断する力を失わせているのではないのでしょうか。
寺内 戦前の神道教育をやったことを反省し

は、私たち仏教徒がおしなべて釈尊のみ教えに立ち返って、正しい智慧と温かい慈悲心をもつて、「いのち」の尊さと「共に生きる」ことの尊さとを世界に示し、現代社会の指針とすることでありましょう。

言うは易く、行は難しと申します。何を以て善とし、何を以て悪とするのか、その見極めが甚だ曖昧になっているのが、今日の私たちの現実社会であります。まずもって、己の周りに張り巡らした我欲我執の垣根を取り払い、本日ご参集の皆様ひとりひとりが、真摯にこの大会のテーマを身に体してご精進され、日ごろのご信心の実をあげられますことを切にお願い申し上げます。

今大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係の皆様、心からの感謝と敬意を表し、私のご挨拶とさせていただきます。

全日本仏教会会長 中村康隆

て、新憲法を作る際にも占領軍の強い力がありましたから、事務総長がおっしゃる通りに戦後の公教育においては、極端に宗教に対して無知になってしまった。それで、「宗教」とはオウム真理教のようなものだと思ってしまう。そういうことで、若者の心をとらえた、ということになるのでしょうか。

もちろん、そこには我々既成教団の力が足りなかった、という反省も伴いますよ。とくに伝統仏教と、神道・キリスト教も含めて既成教団が、新しい教団を「新興宗教」という枠でくくって、あれは邪教だと簡単に識別してしまったということは問題だと思います。

宗門学校のネットワークを

白幡 ヨーロッパでは、学校の中でも宗教教育がなされているそうですね。日本の場合、学校教育では無理ならば、各教団がそれぞれの信徒に対して、今までの布教とはまったく違う方法で、いろはから教えていかなないと、教える場が消えてしまうのではないかと心配しているのですが、いかがでしょうか。

寺内 学校教育で教えるというのは、今の体制では無理でしょうし、教える先生がいません。ところが、宗門の学校の経営サイドは宗教教育にもっと力を入れて、学校の特色を出したいと考えるようになっていきます。それは受験生やご両親がそれを求めているというこ

とです。

白幡 各宗派の関係学校を全部合わせると相当な数になると思いますが、これらの学校で宗教教育の充実を働きかけていけば、大きな流れをつくることができると思いますよ。中学生・高校生の健全な育成のためにも、これらの宗門学校の横の連絡会みたいなものを作っていくことはできないでしょうか。

寺内 浄土宗では、宗門関係学校の学校長会とか事務職の研修会とかやっています。各宗派でもやっていると思いますが、宗派を越えて横につなぐネットワークを、全仏あたりが音頭を取って考えましようよ。

白幡 ぜひ、考えさせていただきます。
ところで、宗教と政治の関わりが世間の注目を集めています。これについてはどのようにお考えですか。

政治不信と仏教国会議員懇話会

寺内 確かに政治は混乱しています。政治に対する信頼を取り戻さないと、日本はおかしくなってしまう。それには政治家の自覚はもちろんですが、政教分離の原則を確保したうえで、我々宗教者も一市民として政治を良くしていく努力をしなければいけません。ですから、浄土宗では全寺院を通じて、檀信徒に「絶対棄権しないでください」と呼びかけています。



白幡 憲佑 事務 総長

特定の宗教団体が、特定の政党や候補者に集中的に投票しますね。これに対抗するには良識ある者がきちんと投票しないと、他の組織に犯されてしまいます。

白幡 人物本位の政治を進めようということですね。いろいろな政党がありますが、我々の立場としては、仏教の信仰をもった人にもたまたま政治家として働いていただきたいということ、どの政党だからというのではなく、その議員が信仰心を政治にどう反映してくださるかが大事なことです。

それで、仏教国会議員懇話会をスタートさせましたが、政党云々ではなく、仏教を信仰する政治家の懇話会ですから、個々の政治の場面では意見が分かれることもあるでしょう。しかし、むしろそれが我々にとっての理想ではないかと思うのです。票になるかどうか

かではなく、個人の信仰をしっかりとっていただいて、政治に取り組んでいただこうということなんです。

青年僧侶の力を結集

寺内 まったくそのとおりです。

話ばかりですが、先程の学校と並んで、青年僧の横のネットワークも、全仏でやるべき仕事でしょう。

白幡 全日本仏教青年会も頑張っています。近年は各宗派の青年組織が力をつけてきましたから、そろそろ宗派を横断する連絡が必要になってきますね。若い人たちの力というのは、阪神・淡路大震災のボランティア活動でも十分に証明されました。

全日本仏教徒会議埼玉大会がいよいよ開催されます。二十一世紀にむけて日本の仏教徒は何をなすべきか、寺内先生のお考えをお聞かせください。

寺内 もちろん信仰です。事務総長がおっしゃるように、きちんと正しい信仰をもつことが基本です。二十世紀が終わるところで、それぞれの宗派の教義を洗い直すこと。しかも横の連絡を取りながらそれをやるんです。それはね、全日本仏教会というのは百余の加盟団体の単なる集まりではないんです。日本人の心の集約だと思っております。これが日本社会を支えているんですよ。ですから、仏教徒

全体が心を結集し、信仰の力を現実の社会に生かしていくことが一番大切なことではない

かと思えます。

白幡 仏教は人々の心のより所なんだ、とい

うことを各教団が自覚しなければなりません。今日はどうもありがとうございました。

復興にむかつて仏教界の動き

本紙では阪神・淡路大震災直後から、救援活動に取り組む加盟団体や仏教系ボランティアの動きを報じてきたが、今号では新しい街づくりを目指して、被災地の人々の復興を応援する仏教諸団体の活動をお伝えする。

加盟団体の復興支援活動

天台宗 ◎兵庫教区災害救援対策本部により、五月には比叡山への「やすらぎ登山」を、七月には「被災児童鮎狩りバス旅行」を実施した。鮎狩りには被災地の小学生とその保護者、五百名を招待した。◎同宗の善照寺（茨城県）住職・菅野澄海師は同寺本堂を会場に、中国人留学生による二胡・揚琴の、大震災復興チャリティコンサートを行った。

浄土真宗本願寺派 ◎同派は「災害対策金庫」を設置し、被災寺院の復興に最高三千万円の貸し付けを行う。◎カリフォルニアの日曜学校の生徒たちが、小さな仏壇と腕輪念珠を作り、同派神戸別院を通じて、被災地の子供会などに贈った。◎西本願寺のビーハラ救援セ

ンターは灘区の特別養護盲老人福祉施設・千山荘を度々訪問し、六月には法話会を行った。

◎同派のボランティア組織・六甲庵は八月十日に大和仮設住宅で「お盆フェスティバル」を行った。◎災害対策現地本部では「復興支援活動者情報連絡センター」を設置した。ボランティア活動者の連絡・調整を図る。

高野山真言宗 ◎同宗は被災した障害者小規模作業所や外国人学校、あしなが育英会など一〇八団体に七千八百余万円を贈呈した。◎同宗長泉寺住職・宮本光研師は震災受難者追悼の御詠歌を作詞し、CDアルバム「PEACE」（作曲・西村直記氏）として発表した。

真言宗豊山派 ◎同派は国立室戸少年自然の家主催の「ワイワイみんなで夏休み」に協力して約三百万円を拠出した。この企画は被災地の小中学生百名を、八月十九〜二十六日まで同施設に招待したものである。

浄土宗 ◎同宗は「指定寄付金」制度の活用を決定し、震災復興委員会を通じて広報に努めている。◎浄土宗総合研究所では七月に大

正大学で行った学術大会で「阪神淡路大震災に学ぶこと」とのテーマで特別部会を設けた。

日蓮宗 同宗の有志で法華経を研究している「一味会」は五月に大正大学で公開討論会を開き、現地からのレポートに続き、救援ボランティア活動の拠点となった妙法華院住職・新聞智照師の講演や、パネルディスカッションを行った。

仏教諸団体の復興支援活動

◆**神戸市仏教連合会**は、七月十七日に兵庫県私学会館を会場に追悼法要と講演会を行った。追悼式は午後五時四十六分に犠牲者に捧げる黙禱で始まり、被災した浄土真宗本願寺派前総務・豊原大成師が講演した。

◆**神戸市青年仏教徒会**は、震災で家を失った被災者に木製簡易仏壇を配った。また、音楽会や子供サマーキャンプの開催、夏休みにJリーグ・プロ野球へ子供たちを招待した。八月十五日には兵庫区湊川公園で精霊送りを行った。

◆**臨済アジアセンター神戸**は、段ボール製簡易仏壇九百三十組を配布した。また、被災したビルマ人留学生に下宿を提供し、奨学金を支給している。



水野梅秀師

今号ではインドの釈尊入滅の地、クシナガラで小学校建設や教科書寄贈を行っているインドマイトリの会理事長、水野梅秀師（兵庫県宝塚市・大宝寺Ⅱ曹洞宗Ⅱ住職、宝塚市仏教会会長）をご紹介します。

こんにちはNGO

मैत्री

インド マイトリの会

理事長 水野梅秀師 (66歳)

— どういうご縁でクシナガラで活動を始められたのですか。

水野 私は二十六年前にインドの仏跡を巡拝して大変感動しまして、以来三十人から百人の人達を連れて、毎年インドへ行くようになりました。そのうち、師匠のお骨を抱いて参加される若いお坊さんたちが現れました。そこで、平成二年にクシナガラに涅槃苑という納骨堂を建立しました。

ところがね、その落慶法要のときにたくさんの子供たちが集まって来たのです。実は学校にも行かない子たちが、法要のお菓子をもらいに来てたんです。このとき「俺はえらい間違いをしおった」ことに気づいて、愕然としましたよ。クシナガラというお釈迦様の聖地に、日本人の郷愁を満たすための、日本人の納骨堂を建てて喜んでおったんです。

この地方では、大規模な人の移動はなかったはずですから、二千五百年前にお釈迦様の最後に、「智慧を持って」という教えを聞いた人々の子孫が、いま私の目の前で両手いっぱいのお菓子をもたらって喜んでいて。ところが、この子たちは文字さえも読めない。ならば私のなすべきことは、この子たちに学校へ行くチャンスをつくることではないか、と気づいたので。これが活動のきっかけです。

— どのようなことから始めたのですか。

水野 クシナガラにあるシュリチャンドラマニ寺の境内で、ミャンマー僧が私と同じ思いで青空学級を開いていました。それで、最初はこの学校を援助することから始めました。教室を二クラス建て、先生の給料を援助しました。そうしたら、四二五人だった生徒が一年後には六五〇人にまで膨れ上がったのです。

この程度の小規模な学校は、未公認の塾みたいな扱いで、先生の給料なんて出ませんが、生徒数が増えて基盤が整ってくる、州政府から許可され公立学校になれるのです。そうすると先生の給料が二千ルピー（六千円）くらい出ますから、それまでの間のつなぎの給料を援助するのです。

その後は、毎年四〜五校のペースで建てていきます（一校につき五百万円の予算）。やろうと思えばもっとたくさんを学校を一度に建てることも可能なのですが、それでは他の地域とのバランスが壊れてしまいますから。それよりも、継続することが大事です。

それと三十三の小学校で教科書を無料配布しています。これは、一、二年生は教科書なしでも授業ができるのですが、三、四年になると算数とか社会とか、やはり教科書なしでは無理です、農作業の労働力になってしまひ、とたんに就学率が落ちます。

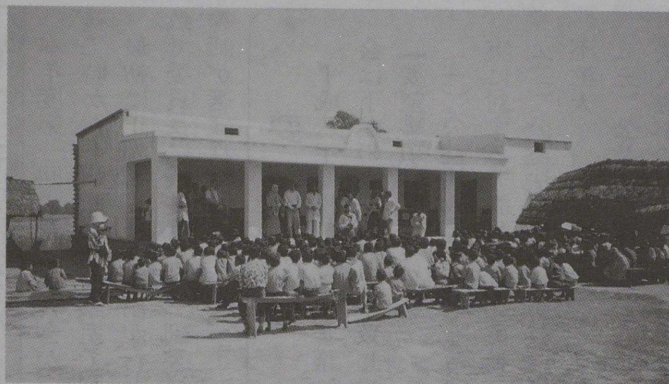
— 教育よりも、その日の糧が優先する社会

なのでですね。

水野 そうです。それは一つには貧困、それからカースト制のためです。特にアウトカーストの子供達が学校へ行かれないんです。

一冊十五円から三十円の教科書を買うお金が無いとか、カーストの違いでいじめられるとか、それに親も学校へ行っていないから、子供の教育に関心が薄い。

ですから、いろいろな援助を行っても、カーストの段階を経るたびに上前をはねられて



同会が建設した小学校

てしまうんです。それが当たり前前の習慣なのですが、そういうことがよく分かっていますから、初めてのころは失敗もしました。例えば、学校で教科書を無料配付しますね。する

と、ふだん学校に来ていない子も集まってくるんです。よく見ると校門のところに業者がいて、その教科書をいくらかのお金で買い取っているんです。横流しするわけです。

これに対抗するため、インドマイトリの会のマークをスタンプで押すようにしました。しかし数が多くて間に合わないの、来年からは政府指定の教科書をインドマイトリの会で印刷することになりました。ロゴを入れて横流しできないよう注意書きを刷り込みます。

— **NGO活動をされるのに心掛けておられることはありますか。**

水野 インドに限らずNGO活動には、もちろんお金も必要ですが、実際に仕事をするのは現地の人ですから、そこを間違えてはいけません。その土地の住民に本当にニーズがあるか、自分たちで立ち上がってやる気があるかをよく見極めないといけません。ですから、あまり急激に仕事を進めると地元の建築業者を儲けさせるだけになりかねませんから、ぼつぼつやるようにしています。いいことをやるのだから、どんどんお金を集めて、どんどん仕事をすればいい、というのは日本の発想ですね。

インドマイトリの会を始めて、自分の思いで活動するのではなく、当地のニーズや能力や意欲をきちんと見ていかないとだめなん

だ、ということを教えられました。阪神大震災でもボランティアが注目されましたが、人のためではないんです。自分の勉強ですね。

アジアを旅行すると、日本人観光客の回りに現地の子供達がよって来て、物乞いをして土産物を買ったりしていますね。そのとき物を買ってあげた後に、多くの日本人が「かわいそうだね。自分は日本に生まれてよかった」と言います。実は私もそう言っておった。でも「日本に生まれてよかった」という意味はどういうことか。国境の向こうではどんなことが起きていようと、国境のこっちは平和で豊かだから「よかった」なのか。そうではないはず。仏教者は国境なんて考えなくていいんです。他の苦しみや己の苦しみとするならば、手を差し伸べなくちゃいけない。「幸いにして手を差し伸べられる立場にあるから、日本に生まれてよかった」と日本人の人に言っただけです。

個人会員	年会費	100、000円
団体会員	年会費	100、000円
学生会員	年会費	5、000円
郵便振替	〇〇九五〇一九一三二四四六	
インドマイトリの会		
〒553 大阪市福島区福島五一六一十三		
堀内ビル二〇五号室		

税務委員会

本年度第一回の税務委員会が、九月八日午後二時から、明照会館会議室で開催された。最初に正副委員長の選出が行われ、満場一致で委員長に浅井侃雄師、副委員長に植田恵秀師が選ばれた。

要 望 書

平成八年度税制改正の審議にあたり、本会は下記の点を強く要望致します。

【要望事項】

- (一) 公益法人等の預貯金等より生ずる果実に対する非課税制度の堅持
- (二) 公益法人等の営む収益事業の範囲の不拡大
- (三) 公益法人等の営む収益事業に対する法人税率の引き下げ及び損金算入限度額の引き上げ

【理由】宗教法人が、人心の安定をはかり、教育、文化、社会福祉、その他公益の増進に寄与することは、人間の心の救いの構造として宗教が存在する以上、当然の帰結でございます。

宗教法人法第六条をまつまでもなく、宗教法人が営む収益事業は、本来営利を目的としたものではなく、宗教活動を円滑なら

つづいて、今年度の活動方針について審議が行われ、本年度も左記の「要望書」を与党各党へ提出することが、決められた。

≡≡≡事務局録事≡≡≡

―九月―

四日 「日宗連」理事会

しめるためのものがございます。

しかるに、宗教法人への課税強化は、その活動を縮小させ、宗教のもたらす精神文化の高揚に著しい支障をきたすとともに、宗教そのものの存在すら危うくすることに
もなりかねません。

もとより、国家財政に協力することは宗教法人として当然のことでございますが、もし「税制改正」の名のもとに宗教法人に対する課税強化がはかれるなら、憲法に保証されている「宗教の自由」「政教分離」の原則を国家権力が脅かすことになることを懸念するものであり、このような税制改正は、宗教者として絶対に容認できるものではございません。

つきましては、税制改正にあたり、宗教法人の特性及び歴史的慣習を十分斟酌され、ご審議下さいますようお願い申し上げます。

六日 福田赳夫元首相本葬儀参列

局内会議

八日 税務委員会

十二日 同和研究会

十三日 全仏大会打ち合わせ

十四日 法律相談室

十八日 与党三党に税制の要望書を提出

十九日 局内会議

二十七日 永平寺差別戒名供養法会参列

二十八日 法律相談室

二十九日 ルンビニー委員会

哀 悼

山本 杉氏 (元全仏副会長・常務理事)

九月九日、九十三歳で死去

全日本仏教婦人連盟会長

1996年版

全仏手帳

三帰依文、四弘誓願、宗門聖日、
加盟団体住所録などを収録!
9×14cmのポケットサイズ

定価 700円

お申し込みは...

全日本仏教会 全仏手帳係